



世羅高 同窓会会報

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会報編集委員会
世羅郡世羅町本郷870番地

第七号発刊によせて



同窓会会長 小島 敏文
(昭44高卒)

同窓会会員並びに地域の皆様方には、本会の運営につきまして、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、私は、本年三月の平成十六年度卒業式に参加して、感動をおぼえました。担任の先生が卒業生の氏名を読み上げていく、生徒は一人一人「はい」と答えて起立する。当たり前のことではありませんが、少なくとも、数年前までは、こうした光景は見られず、担任の先生が氏名を読み上げても、生徒は「はい」とも答えず、しかも、「ぬめつ」と立つ光景を何度も見て、本当に情けないと思っておりました。

七年前、広島県は、全国でも前例のない文部省(現文部科学省)から十三項目にわたる是正指導を受けました。更にその翌年、本校

における故石川敏浩校長先生の不幸な事件は、まさに広島県教育の混乱の象徴としてとらえられ、血涙の思いでありました。

平成十一年四月に田邊康嗣校長先生が着任され、世羅高校の再生が始まりました。また、PTA活動としても、保護者の方々による週一回の登校指導などに取り組みされました。私も朝の校門での指導に参加しました。

あれから六年、世羅高校は見事によみがえりました。本年四月に田邊校長先生は転勤されましたが、先生は、世羅高校再生の基本理念として、

①学力をつけること。(三年間を見通した計画的な進路指導)

②生徒指導を徹底すること。

③スポーツ・文化活動の活性化。を掲げられ、これらの徹底を図れば、生徒は自ずと世羅高校に集まってくる、併せて、地域の発展に貢献できる学校づくりを推進していきたいと強い信念のもと、有言実行で強力なリーダーシップにより、教職員・生徒・保護者をご指導いただき、大きな実績を上げていただきました。

国際化への対応の一環として、ケニア共和国からの留学生の招致や台湾大同高級中学校との姉妹校提携などを推進され、また、地域の六十歳以上の方々と世羅高校生と一緒に授業を受ける「シニア・シチズン・カレッジ」を開講され、

地域に開かれた学校としての道筋を付けていただきました。更には、学校評価の一つの目安として取り上げられる進学状況ですが、今春には国公立大学へ三十名が合格するなど、学力も着実に向上していることが伺え、大変嬉しく思っております。

先生の長年にわたる本校再生へのご努力に対しまして、改めてお礼を申し上げますとともに、先生の新任地におけるご活躍とご健康を皆様とともに祈念いたしたいと存じます。

田邊校長先生の後任として、北川洋一新校長先生がご着任されました。先生は、前任地の尾道工業高校で、県内最年少校長として実績を積んでこられました。また、田邊校長先生とは県教育委員会で席を並べておられたと伺っております。本校教育の一層の充実・発展にご努力していただけるものと大いに期待しており、私達同窓会も、全面的にご支援・ご協力を申し上げる所存でございます。

さて、平成十八年は、世羅高校創立百十周年の記念すべき年を迎えます。同窓会として「世羅高校創立百十周年記念同窓会実行委員会」を組織し、具体的な記念事業の準備に入っております。同窓会の皆様をはじめ、地域の方々の絶大なご協力をお願い申し上げます。第七号の発刊にあたってのご挨拶といたします。

本校のめざすもの



校長 北川 洋一

本年四月に世羅高校に着任して以来、同窓会ならびに地域の皆様には本校の発展のために多くのご支援をいただきまして誠に有難うございます。来年度、創立百周年を迎える本校は、さらなる発展を期して、落ち着いた環境の中で学校を上げて、学習に、クラブ活動等に一生懸命に取り組んでおります。昨年度は就職率一〇〇%、国立大学三十名合格、陸上部男子の全国駅伝大会出場と輝かしい成果を挙げることができました。さて、先日遺伝子の研究をして

いる人の話を聴く機会があり、「人間の全DNAの中で、働いているDNAは三%前後であり、遺伝子暗号の九十九・九%は他人と同じである。人の能力に大きな差はなく、ほとんど〇・〇一%誤差の範囲である。遺伝子は環境によって目覚めることがある。よい遺伝子をオンすれば発揮できなかつた力を出せるようになる。何倍もの力を発揮するように。」といった話でした。そういえば、授業中は、居眠りが多いが、放課後になるとクラブ活動を一生懸命して

た彼は、その後環境が変わり、努力の結果今では大活躍しているとのこと。いつの時代も子どもは社会の宝であります。この宝は大変社会の影響を受けやすい性格を持っています。少ししんどいことをすればすぐにくったりとしてしまう体力のなさ、何日かけても最後までやり切ろうとせず簡単にあきらめてしまうこと、出された食事を平気で残すもつたいなさ、学習にクラブ活動に没頭できることを少しもありがたく思っていないことなど。しかし、この原因を考えてみると、すべて現在の環境が作り出したものではないでしょうか。よい環境が、子どもの眠れる遺伝子をオンにします。我々おとなが、いけないことはいけないと叱り励ますこと、よい点はどんなにほめていくといった毅然とした指導が必要ではないでしょうか。

習熟度別授業、進路別のクラス編成、補習授業等を実施し、全国で通用する学力をつけております。近年、子どもたちが自ら進んで学習をしなくなつたといわれております。これからの教育は、一方的に知識を教え込む、知識の量を競う時代から、問題解決能力、探究心、発想力、想像力が必要とされる時代に転換しています。こういった意味においても自宅学習は特に大切であると思います。孔子の言葉に、「学んで思わざればすなわち罔(くら)し、思いて学ばざればすなわち殆(あやう)し」といったことがあります。

このように、本校は、創立以来謳い続けてきた「文武両道」を校训として、二十一世紀の世羅台地、日本・世界で活躍する人間の育成を目指して取り組んでおります。夢と志を抱く生徒を育てたいと考えております。

現在、世羅高校は、次の二点を重点課題として取り組み、よりよい環境を作りつつあります。①生活力を向上させること。②コミュニケーションの第一歩である「あいさつをする」ことを中心に、「時間を守る」「服装を正す」「掃除をする」を取り組んでおります。自分を磨き、将来、社会に貢献できる人間を育てております。②確かな学力を定着させること。二学期制、四十五分七時限授業、全ての学年を国語・数学・英語は



学校だより

世羅高男子、余裕の優勝
女子、二位に躍進

男子第五十六回、女子第十七回全国高校駅伝競走大会の県予選が十一月五日、三次市のみよし運動公園陸上競技場を発着点とするコースで行われました。男子は世羅高が二時間九分十二秒で二年連続三十四年度の優勝を飾り、十二月二十五日の全国大会への出場権を獲得しました。

一区、ジョセフは二十八分四十七秒の区間新をマーク。二位に一分五十四秒差の独走態勢。以後も二区松本、四区中原、五区岡崎が区間賞を奪い、アンカーの一年生の鑑坂が、西条農業高に三分近い大差でゴールしました。

女子はアンカーのテレシアが区間賞の猛追を見せましたが、僅か八秒差で惜しくも優勝を逸しました。しかし健闘し、二位に躍進したことは来年に夢をつないでくれました。



健康で住み心地の良いお部屋造
家屋を守る白蟻消毒
株式会社 もみの木畳店
世羅郡世羅町 TEL(0847) 22-1426 (代)
FAX(0847) 22-1893

TOCHU GROUP スズキ専門店
スズキオートSHOP
TEL(0847) 22-0279 FAX(0847) 22-0977
トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場
トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場
アラタニオート(株)
TEL(0847) 22-0279 FAX(0847) 22-0977

「進学状況および取り組み」
進路指導部

昨年度の本校の進路状況は、進
学は大学八十六名、短大二十八名
専門学校四十七名、就職は二十八
名でした。大学・短大への進学者
は年々増加し、一昨年に比べ倍増
となっております。これは普通科・
専門科問わず見られる傾向で、少
子化で大学が易化したこと、行先
き不透明な現代において少しでも
学歴をつけておきたいという心理
の現れと言えます。また、国公立
大学へも三十名が合格を果たしま
した。この数は、昭和五十年の三
十四名に次ぐ世羅高校歴代ベスト
二です。短大・専門学校に進学す
る者もその多くが、医療・福祉・
保育・自動車整備等、学習内容と
仕事が一致する分野となっております。

台湾姉妹校からの来校



八月
二十日
(土)、
世羅高
と姉妹
校締結
をして
いる台
湾大同
高級中
学の教職員と生徒二十六名が来校
されました。

午前中、全校生徒で一同を迎え
た後、両校校歌を演奏、歓迎式を
開催しました。記念品交換の後、
合唱、剣道部と空手部の演武、ソ
ラン踊り等で歓迎し、昼食には生
活福祉科生徒による弁当と手作り
ゼリーなどで接待しました。

午後は、来校された教職員に校
内の施設・設備を案内し、生徒た
ちはゲームを企画し交流を深めま
した。その後、世羅・世羅西・甲
山の三中学校合同の吹奏楽部員に
よる演奏を楽しみました。

夕方は地元での夏祭り「廿日えび
す」を案内し、男子生徒は祭りの
ハッピ、女子生徒は浴衣に着替え
花火や屋台などを楽しみました。

なお、十月四日から七日まで、
本校教職員と二年生二一二名は、
台湾へ修学旅行に行きました。台
湾南部高雄市の大同高級中学を三
日目に訪問し歓待を受けました。

特集

2つの源流をたずねて

本校創立110周年を前に――
本校の淵源が一八九六(明治二
十九)年の甲西会と、一八九七
(明治三十)年の私立裁縫所にあ
ること、それぞれ世羅の地に男子
そして女子の中等教育の場を創設
した二人の先人の情熱と意志によ
るものであることを改めて思い起
こすところです。今回は二人の同
窓の方々にお願いして、執筆して
いただきました。

千葉三郎先生を偲んで

藤井 志郎 (昭15卒)



世羅高等学
校は平成十八
年四月をもつ
て百十周年を
迎えることに
なります。よつて世羅高校創立の
祖師である千葉三郎先生の眠られ
ているお墓(ご生家は跡地のみ残
り、その裏山に淋しく苔むしてい
る)を先般訪れ、そのお墓の文字
をなぞりながら、遠き明治の昔を
偲び、現在の世羅高校に思いをは
せ、しばし感慨一入深いものを覚
えました。明治政府は維新の直後
から近代的な教育方針のもと、全
国統一的な公教育を開始して、小
学校の普及が進みましたが、小学
校の卒業生が出る一八七八(明治
十一)年頃より、中等学校の創設

が急に必要となってきました。し
かし明治十年代には広島県内で県
立中学校は広島と福山の二校のみ
の存在でした。そこで世羅郡地方
の状況をみるに、文部省認可の公
立、私立中学ではないにしても、
中等教育の必要性が高まり、郡民
の中からその要望が急速に台頭し
つつありました。明治二十年代に
入り、希望のもてない田舎の青少
年の奮起を促し、教育の必要を求
めて青年同志会なるものが県内各
地に起きてまいりましたが、その
中の一つ「京丸青年同志会」なる
ものがありました。そして一八九
六(明治二十九)年に至り、期を
同じくして、この地に世羅高等学
校の前身(「私立甲西会」)なるも
のが創立され、これが世羅高校の
歴史の源流に溯る唯一の発祥地と
なったのであります。折しも当時
福山英和学館、井原興議館にて教
鞭を執っておられた広島県芦品郡
福相村相方(現福山市新市町相方)
の出身である千葉三郎氏なる方が、
偶然か奇跡か京丸の地を通過の際、
これまた偶然か、同地の六山嘉作
氏との出会いがあり、教育のこと
に話が及び、同氏の土蔵を教場に
充て、中等教育機関としての私立
学校を創設し「甲西会」と称した。
ついで一九〇一(明治三十四)年、
県知事の認可を得て有志十数名の
協力のもとに同京丸の地、梨の木
に校舎を建築し「岐世館」と改称
した。(この岐世館時代の館長千

進物の玉浦

☎0847-22-1107
FAX. 0847-22-1567



〒722-1121
世羅郡世羅町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休



株式会社 田中商店

代表取締役 田中信博

TEL (0847) 22-0026

葉先生の教育方針、教師陣の横顔、生徒たちの学校生活、マンツーマンの師弟一如の勉強、薪炭の労を共にした師弟間の汗の生活等々については「会報」第三号掲載の拙稿に詳細に述べさせていたでいたので、割愛します。

しかし、かくして誕生した校舎も時代とともに幾多の変遷をたどり、終に校舎を東大田村本郷(現世羅町本郷八七〇)に移転し、終に一九二六(大正十五)年四月をもって県立移管となり、入学定員百名をもって「県立世羅中学校」と改称されました。その後、二十年の歳月を経て、敗戦による学制改革となり、一九四九(昭和二十四)年四月正式に男女共学の「広島県世羅高等学校」となり現在に至っています。さてこの世羅高校創立の祖師なる千葉三郎先生は、

校舎を去られた年に不幸にして病に倒れられ、兵庫県明石にて病氣療養中、一九一六(大正五)年九月(今を去る九十年前)遂に逝去されました。享年四十八歳でありました。その後に至り、この山間僻地の地に一点の名利の念もなく、田舎の青少年たちを文化の恵沢に浴させ、人材を養成された千葉三郎先生の功績を伝えるものなきを憂いて、先生の教えを受けた門弟たちが、相寄り相謀りて、京丸の郷に碑を建て、以て恩師の名声を永久に伝えようと現在の京丸の国道四三二号線沿いに記念碑

を建立されていきました。そして平成十四年十一月、国道四三二号線の拡張工事により、京丸振興会の方々によりこの記念碑が見事に移転整備され、国道を走る人々の目をひくに至りました。変わりゆく世相をみつめつつ、この地での建学の精神が世羅高校に受け継がれ、いよいよ発展してゆくことを祈っているかの如く、祖師千葉三郎先生の記念碑は、今日も静かに立っています。



千葉三郎先生



記念碑

夢追いの道

浅野智恵子(昭20女卒)



『校祖多田ミチ(道子)・みちの記述もある』師の素顔』について

聞かれると間髪を入れず、「世羅高等学校創立百周年記念誌」を紐解いて下さいと即答する事に決めています。しかし、旅人案内では何故か探求に際して焼き付いた袴姿の女学生達が宝珠山と校歌に謳歌していた映像が過ぎり、自らも古城山頂に防空監視哨構築に銃後の乙女と覚悟の汗を流したモンペ姿の女学生群像も疼き、自然と足

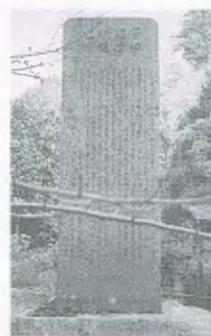
は今高野参道に向っている時があります。イロハと読める石垣坂を過ぎ左手山門脇を抜けると、ミチ女史を偲ぶ第一の地点に着きます。記録文献の乏しさを訴えつつ世羅一円(当時の郡は広域)の女性に自主自立点灯に全力投入を決意し



地立点灯に全力投入を決意し発祥の地

なつた安楽院跡に誘い、大きな石碑を手でなぞり、まだ目に来ない挑仙女の詩情に強い想像力を寄せる。そして遠い長野県上田高等女学校在職中に女性開眼の夢の花を見る事なく三十六才で逝かれた挑仙女(貞松院孝順挑仙大師)

の墓石は御両親共々に只黙し世羅の変容を見続けておられます。生徒の頃には夏草を分けて担任先生が手渡す線香を受け取り額ずいた等々乏しい話題で案内をし、町が見渡せる安楽院庭園跡の土塀によりかかつて比の理想を掲げたお嬢様先生・挑仙校長には二つ大きな理解者群が存在した事とぼとぼ口伝します。



多田道子頌徳碑

一つは、人物像で、挑仙女史と志を同じくする女性教師(助手)が存在した事と、志を推し支え続け無形の力を惜しまず注いだ当時地方高官奥方達の話(「甲山小学校沿革史」・「世羅郡誌」参考)此処の下段がその現場。因みに大正十二年に県立校となつて移転(現世羅町庁舎のあるところ)する迄、「郡立世羅女学校」として世羅地方女性育成に心血を投入された現場です。

此の聖地。ひと頃は経木帽子工場が創業をして内職援助の一翼を担い現在は「アクアハウス(今高野)」として身心を温める場となっています。

さて、少し話題を世羅女学校の教育に返してみると、此の頃の教育目標は、「一、農村的婦人(女

稲田歯科医院

広島県世羅郡世羅町甲山48
TEL (0847) 22-0166

美しい写真を真心でお届けする
デジタルプリント専門店

阿部写真館

阿部秀雄

世羅町本通り
(TEL・FAX)0847-22-0213



多田道子之墓

世羅女学校校歌
 一、今高野なる境内に
 築き建てたる 我が校舎
 あとは岬岫たる 宝珠山
 沃野ちまたの はて遠し

旅人は此の高い思想に触れて頂けるだろうか。目印の跡地さえ標示していない後輩自分等の幼さを嘆き、見えない鞭の強い音に首をすくめて堪えている自分を見つめて、ひたすら歩いていきます。

性)を養成。二、教育志望者の為に本科の上に補習科を置く。」でした。女性自らが気付き力を伸ばして地域の底力を上げ、もつと高度の学力を求める子女等にはその道を広げる方針を生徒にも求め学力志向を強める。卒えて教師の道を選ぶ少女も多く記録の中にも生きいきとしていますが、教場に送り出した教師の親心も亦温い。夏期には育てた教場に呼び帰し現場で自信の乏しい箇所を再度なぞる夏期休業中の再教育(旧世羅郡神田村は格好の場所)。教師の厳しさと和を共存・実行された教師像は多田ミチ師の思想伝承の姿であったのだろうと頭の下がる想いを噛むだけ。

同窓生より

戦前留学生を偲んで

小川 龍水(昭24高卒)



朝鮮からの留学生
一学年定員

百名を目標に、

大正十五年(一九二六)に県立に移管され将来の発展を目指していた広島県立世羅中学校も、昭和二年の金融恐慌の波を受け、さらに昭和四年からの農村恐慌により、中学校への入学生の減少と退学者が増加し始め、一学年二学級(定員百名)の確保は無論一学級(五十名)の存続も困難な状態となり、瀬戸内沿岸の島嶼部(向島・因島・大崎島)方面は勿論、遠くは台湾・朝鮮等より積極的に生徒募集をする事が望まれ、県会議員原田瑞造氏の指導と支援を仰ぎ、二代目吉野益見校長は、県教育部の承認を得て台湾・朝鮮へ出向き台湾・朝鮮に交流のある地元企業の応援と、縁故関係を頼り、また当時世羅中卒業生で台湾師範学校を卒業、現地で活躍中の諸先輩の協力を得て世羅中学校への応募者啓蒙の推進に踏み切りました。

そして努力の結果昭和五年四月台湾より第一回十二名の応募者があり、朝鮮から七名の向学の志に燃えた応募者の実現を見ました。翌

(年より応募者年々絶えることなく、昭和二十年終戦まで台湾から六十五名の卒業生を送り出しました。)

(二)世羅中での学生生活

春、校庭の美しい櫻並木に迎えられる、希望に胸を膨らませ入学した留学生に待ち受けていた試験、夏は故郷の気温と大差なく、これなら大丈夫と思う矢先、十一月後半からの寒さ、暖かい常夏の故郷と違い、初めて見る雪景色、生活様式の違う宿舍、火鉢、炬燵どれも故郷では見られないのもばかり、しかし、台湾人特有の粘りと根性で乗り切り、一期生から六期生までは順風満帆で、最終学歴も東京帝大・東京医大・薬科大学卒業に及んでいます。遠く離れた世羅に留学する家庭は相当な資産家の御曹司と、知能・勤勉・体力共にすぐれた人達と推測され、帰国後も国会議員・州・県の要職で活躍・事業面では会社経営で素晴らしい業績を上げています。しかし、やがて日本を襲う不幸は、留学生諸氏にも降りかかって来ました。

一、十二年から本格化した日中戦争。

一、十四年の米穀配給制度公布。

一、十六年米英に戦線布告。

一、十七歳以上兵役義務。

どれをとっても苦渋の生活、学生ではなく学徒と呼ばれ、三年生から学徒動員出動、留学生諸氏の中には特別幹部候補生として志願して日本の軍隊に出征され、それを

(中間・渡辺・修善院・堀田)の各寄宿舎から送り出しました。残った留学生達の寄宿舎での食料不足の生活は、想像以上。空腹との戦いは忍耐の限界を超えたようです。かくして終戦を迎え、留学生諸兄も帰国、そして大学に進学し、台湾の要人として指導的役職で、現在の地位を築き上げ、今は子どもさんを米・英の大学で勉学を終了させ、それぞれの国で活躍と聞いています。

しかし、ともに学んだ留学生・学友ともお互いの国情により三十年間の交流が途絶え、安否を気遣いながら過ごしていました。

昭和六十二年、台湾の陳恆盛国会議員から来日の連絡が入り同期会を開き、台湾から四名参加してくれ、共に健康を喜び三十年の空白を語り明かしました。それから十八年の月日が流れ、台湾と世羅の交流は絶える事無く続いています。



世羅高校一八会・第十一回同期会 2001.10.24

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂東辰男

本社
 〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL0847-22-2121
 世羅バイパスS
 〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL0847-22-1151
 世羅配送センター
 〒722-1111 世羅郡世羅町寺町187-1 TEL0847-22-1136

O A 機器・事務用品・学用品 } 卸・小売
 オフィス家具・教材教具・教科書 }

森田尚文館

森田 努

世羅郡世羅町 TEL 22-0136(代)
 FAX 22-3051

二〇〇一年世羅高校と台湾大同高級中学校との姉妹校締結を台湾同学会にお願した所、同期生の国會議員の陳恆盛会長が快く引き受けて関係省庁・屏東縣知事議長に奔走、学校とも交渉。翌年姉妹校締結の成果を挙げました。これも偏に学兄が世羅を第二の故郷、母校を愛してくれる賜物と感謝しています。

「大同高級中との姉妹校縁組は毎年の様に確実に交流が行なわれ、今後幾十年或は永遠に台湾と世羅台地と訪問が続くよう願っています。」

思い出— 看護の道を選んで 木村ミノリ(旧姓門田)昭31高卒



創立百周年おめでとう
ございます。
私は昭和三十一年卒(普通科)

です。世羅高で学んだのは半世紀も前になります。社会状況も今とは異なり、中学校(久井)から世羅高へ進学した者も大勢はいなかった様に思います。その友人達とそれぞれの夢を抱き、田打の峠を越えて三年間自転車通学をしました。舗装がしてない凸凹道を列になって、交通量も少なくて

どかな通学路でした。入学してからは「駅伝の名門校」であることを実感しました。運動場での福崎先生の厳しいかけ声と選手の方達の汗だくの力走を目にし、この日々の努力があつての晴舞台だと感じていました。そして十二月は県予選に貸切バスでの大応援団で、声も嗚れんばかりに声援を送ったことが懐かしく思われます。今でもこの時期になると世羅高の名前を探し、一喜一憂しています。伝統はすごい力ですね。

普通科は三クラスあり、各クラスに女子は三分の一くらいしかいませんでした。皆さんどうなさっておられますか。悩み多き高校時代、親にも言えないことを何でも話せて相談できる友がいたことは多情多感な青年期を上手く乗り越えられたのではと振り返ってありがたく思っています。

そして多くの恩師からの学びがありました。お世話になった先生方はご健在でしょうか。数学の村田先生、化学の内田先生、英語の西原先生、国語の周才先生・岩崎先生、物理の青景先生(三年時の担任の先生でしたので進路に関して大変お世話になりました)等々、先生方からそれぞれの科目の基本を学び、授業の合間にかい問見ると、お一人お一人の人間性に温かいものを感じそれが科目と同等、いやそれ以上に大切な教育では…と後

に気づき感謝しています。中でも岩崎先生は、何時も和服姿で髪は一丝乱れず、凛々しさには同じ女性としての魅力がありました。国語の授業中に「数学の方程式XYZや、図形のサイン・コサインは、これからの社会生活で物事を考え判断し決断する基盤となる頭の訓練である」とのお言葉は印象深く残っています。偏差値もなく、ゆとりがあり、多くの恩師に恵まれた素敵な教育環境だったと思っ

ています。唯、苦手な科目は手抜きをし今尚、悔まれます。卒業後の進路は随分悩みました。最終的には看護学校へ進み、臨床経験を経て看護教員として三十有余年勤めました。

当時は、看護職に対しての社会的評価は低く、就業することには周囲からも強く反対されました。確かに看護職は特殊性(人の生命にかかわる業務であること、夜勤があること等)があり、私も結婚と同時に退職し、育児家事に専念した期間があります。その後、高齢少子社会の到来、医療技術や医学の進歩に伴い、看護の場は医療施設だけでなく多様化し、需要は増加、看護に対する期待も多くなり、社会的役割も認められてきました。今は「看護職を選んで良かった」と心から思っています。

すべての国民が健康で明るく元気に生活できる社会を実現するために「健康日本二十一」が推進されています。



最後にになりましたが、母校のままですのご発展を心よりお祈りいたします。

私と農業開発

松村 昭治(昭38高卒)



世羅高校を卒業して四十一年、歳月の早い流れに驚いています。

私は、昭和三十七年の卒業を目前にして急性腎臓病を煩い、五十日間の入院生活を送る破目になりました。その当時の恩師で、今は亡き木村幸人先生や両親の「今、しっかりと養生しておかないと慢性

Iwatani Life-Up マル斗子プロパンガス・管工事事業
昭和三十七年石油特約販売店・住宅機器

マル斗子株式会社
世羅郡世羅町大字西上原597番地

本社・甲山SS ☎22-1101
世羅中央SS ☎22-0662

地域とともに大きなふれあい

株式会社 山平組

代表取締役 山平正登

世羅町別迫711 ☎(0847)24-0111代(本社)
☎(0847)24-0226代(工場)

化して、生涯治らないかもしれない。「という忠告もあり、休学をし、療養に専念しました。結局、新三学年に一年遅れで復学しました。しかし、すぐさま体調は整わず、激しい運動もままならず放課後は学校の農場で実習に明け暮れていました。また夏休みには、秋に開催される高校生を対象にした恒例の「家畜審査競技会」に向けての技能訓練に、他の出場予定者と連日汗を流しました。

広島県大会には、世羅高校より三チームが出場し、見事一、二、三位と上位を独占しました。(残念ながら私のチームは二位で新潟県で行われた全国大会には出場できませんでした。)その翌日、学校で報告会が開かれ、全校生徒の前で結果をお話しになる木村先生の誇らしげな顔が今だに脳裏に鮮明に残っています。

高校卒業と同時に、木村先生の紹介で島根県の農林省中国農業試験場の畜産部に入學しました。そこで全国より参集した同年代の農業を志す青年達と一年間、家畜に関する知識や技術を習得して郷里に帰って来ました。高校と試験場で身につけたことを、これからの農業に生かそうと意気込んでいたものの、私の理想と現実の間に大きなギャップを痛感し、取りあえずは定職につかず、米を中心にトマト、ピーマン、イチゴづくり、また家具工場で働いたり、農協の

牛の人工授精を請け負ったりの日々を送っていました。

そんな折、世羅幸水農園のような第二の梨園が計画されていることを知りました。その規模は、六十ヘクタールにも及び、事業費も莫大なものでした。それに経営の形態は全面協業経営とのこと故、それに参入することには家族の猛反対を受けました。しかし、私の頭の中には、一面たわわに実った果樹園以外は何も浮かばない有様でしたので早速、応募しました。当時の坂口町長と丸田開発課長は、国や県に対して大きな力を持つておられとても頼もしい存在でした。最低でも六名いないと法人が結成できないため仲間を募り、昭和四十八年二月の小雪のちらつく日に「世羅大豊農園」を立ち上げたのです。

設立当初は、手作業での雑木林の伐採と石拾いの毎日でした。技術的にも未熟な上に、地力のない土地には何を植えても思うようには育たず、それはそれは苦勞の連続でした。堆肥の投入にも、新しい機械の導入にもお金が必要で、私財を投げうち、借金を背負うことの不安から、十四名いた組合員も離脱する者が出て、結局九名になりました。

もともと、やせた土壌で腐植分が少ないため、借金を重ねながらも堆肥の投入だけは続けていました。また、梨が収穫できるまでの

数年間は、スイカ、白菜、大根を生産販売して、少しでも運転資金の足しにするなど、色々試行錯誤を繰り返しながら何とか苦境を乗り越えていきました。設立から十年目の昭和五十八年、やっと計画を上回る収量と売上げで、初めて黒字を計上することが出来ました。その時の、「よし、これは出来る。」と心踊る気持を押え、気を引き締めたことを今、懐かしく思い出しています。

現在の面積は四十八ヘクタール。高品質で無袋栽培ができる「幸水梨」「豊水梨」「愛甘水梨」を栽培しています。最近では、梨のほかにもスモモ、ブドウの栽培も手がけていますが、これらも大人気になりそうです。

世羅台地の気候は、冬や春先は寒さは厳しいですが、夏から秋にかけての昼と夜の温度差は、果実にとつて色や味に大きな味方となっています。この事が、青果市場で高い評価を得ている所以です。

梨の販売は、市場へ約六十%、直売四十%の比率でしたが、最近直売比率が高まるように努めています。「山の駅」と言う直売施設を開設し、売店、レストラン、駐車場、トイレも完備し、シーズン中は、一日に千人以上の人が訪れています。また、梨の直売だけでなく、「梨狩り」、「梨の木オーナー制度」も取り入れ、隣接するグリーンランドには家族や子供達

が遊具を使って自由に遊べる手づくりの施設も整えています。

創意と工夫で地域が活性化したことが認められ、平成十三年、私達九戸の農家が「日本農業賞大賞」を受賞しました。東京のNHKホールに、私達九人と家族達が招待され、受賞の喜びを分かち合いました。

平成十三年四月、広島空港と世羅町を結ぶフルーツロードが開通し、世羅台地への交通の便が随分よくなりました。環境に一層配慮した農園づくりを心がけ、都市と農村を結ぶ拠点として、この世羅台地が益々活力に満ち、更なる発展を遂げるよう微力を尽くしたいと思っています。

奈良王寺発!

近況報告

田丸 靖子(旧姓金尾 69歳 高卒)



秋の深まりを知らせる恒例の行事、正倉院展が今年も十月二十九

日から十一月十四日まで、奈良国立博物館で開催され、美しい品々が出陳されます。今年の目玉は、十二年ぶりに(木画紫檀基局)正倉院名宝といわれている一つであるとの事です。病いでいたしかたなく残念でしたが、少々あわて気味に五十八才で黄泉に旅立った夫

スーパーマーケット
白谷屋

■本部 世羅郡世羅町大字西上原字880番地 5
TEL (0847) 22-2828(代)
FAX (0847) 22-2665

ピオ

甲山ショッピングモール
世羅町西上原
TEL(0847)22-3820

(世羅高二十八年卒)は大の囲碁好きでした。囲碁さえ打てれば死んでもよいとは思われないけれども、「囲碁を知らない人は不幸だと思う。」とよく言っておりました。息子にも幼稚園の頃から教えており(彼も中学一年の折、日本棋院の三段に)。主人も今頃は、天平時代の高貴な人々が贅沢な遊戯具で囲碁を楽しんでいる様子をかいま見ているかも知れませんし、もしかしたら、一氣に時代を駆け登って参加しているかも知れません。いづれにしても囲碁三昧に浸っている事は間違いないでしょう。余談はさておき、さすがは奈良、秋ともなれば方々で歴史、文化にまつわるさまざまな公開講座が大学や財団法人が主ですが、寺院や各自自治体等で開催されています。私も王寺町教育委員会の古文書解説講座にチャレンジしています。難解で苦しみ乍らも、好奇心旺盛の為か、興味しんしんで挑戦しています。その他にも自分の関心事に合わせてあれこれと、チェックし認知症予防の為に、参加体験しております。依って、一日が二十四時間では足りない有様の昨今です。

地域だより

東京校友会

一月三十日、平成十七年度役員会を港区六本木三丁目第八ビレッジで開催。議案三件を一括討議決定。十月二日、会報二十一号を役員総出で会員その他へ郵送。十一月二十日、総会を虎ノ門パストラルで開催。来賓として小島敏文世羅高同窓会長、北川洋一世羅高校長、さらに庄原格致高校東京校友会、庄原実業高校東京校友会の両正副会長をお招きし、現況報告や祝辞を頂いた。総会後の講演会では講師として新畑茂充広大名誉教授(昭和三十九年四月から五十年三月まで十一年間、世羅高校教諭として勤務され、その間陸上部監督として、昭和四十七年、四十九年の二回、全国高校駅伝優勝を成し遂げられた。)を迎えて、全国制覇までの歩み、指導者としての信念などを拝聴し深い感銘を覚えた。駅伝の伝統のもとを築いたOBや、先生を慕う卒業生たちも多く集まり、当時は偲び伝統ある母校に学んだ喜びを反芻した。

本部だより

〈総会報告〉

平成十七年度世羅高校同窓会総会は八月二十一日(日)出席者三十七名で世羅町本郷「玉乃家」で開催されました。小島敏文会長・北川洋一校長の挨拶で開会。続いて秦典三東京校友会会長、松尾千九三近畿同窓会会長より祝辞を頂きました。議事・現況報告の後、記念撮影を行い、小川滝水幹事長の挨拶、乾杯の音頭により懇親会に移りました。今年度の参加者は昨年度とほぼ同数でしたが、出席者それぞれが在学中の思い出、母校への思い、現況などを話され、和やかな会となりました。

の挨拶、乾杯の音頭により懇親会に移りました。今年度の参加者は昨年度とほぼ同数でしたが、出席者それぞれが在学中の思い出、母校への思い、現況などを話され、和やかな会となりました。

思い出が語られ、谷敷夫人と娘さんも挨拶に立たれました。当時の優勝監督の内海富貴郎先生の思い出も多く語られ、参加者一同深い感動の一時を味わいました。

① 同窓会員名簿の作製は、昨年度総会後、業者決定し編集作業に入り、現在は最終校正の段階に入っています。

本年、次の方々が亡くなられました。長年の薫陶に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

② ①以外の事業については十一月下旬の記念事業同窓会実行委員会にて協議されます。

▽荒井 進氏(本校在職昭和四十二年四月〜四十三年三月、五十二年四月〜六十一年三月)

③ 県費による新体育館建設については十二月入札の運びとなっています。また、学校独自の記念事業として、来年十一月に同窓生による講演会が計画されています。

▽佐伯正子氏(本校在職昭和二十五年四月〜五十七年三月)

〈故谷敷正雄氏を偲ぶ展〉

第一・二回の全国高校駅伝優勝チームの主力メンバーであり、アジア大会にも出場し、将来を期待されながら二十八歳でその生涯を閉じた名ランナー谷敷氏の資料を集めた展示会が、十月同氏の生地宇津戸の公民館で開かれました。同郷の後輩小川信晃氏(昭33年高卒)が中心となって奔走、実現したもので、会場で開かれた偲ぶ会には、往時の岡河(政成)・曾根・橋和・岡戸(丹下)など陸上部の面々、級友の早間、中学時代の金田、第二黄金時代の新畑監督などの諸氏が馳せつけ、次々と故人の

編集後記

この一年、戦後六十年の節目の年として、不戦の誓いを新たにしたいところです。しかし一方、「劇場政治」への国民の支持率は戦後民主主義の崩壊を象徴するかのようです。この潮流の中で、批判する精神、少数意見を述べる勇氣を持ち続けたいものです。母校の淵源百十周年を迎える来年が皆様にとって良き年となるようお祈りします。

編集委員

- 伊藤 陽康(S28年高卒)
- 石原 正俊(S28年高卒)
- 瀬尾 俊章(S32年高卒)
- 松尾ハルミ(S32年高卒)
- 仁田 賢次(S44年高卒)
- 近藤 寿(S56年高卒)



警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)
アウトソーシング事業部(般34-300074)
タイムパーク事業部

株式会社 **じつとく 實徳コーポレーション**

本社 〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷39-7
TEL(0847)25-5271 FAX(0847)25-5272
営業所 〒730-0813 広島市中区住吉町3番7号
TEL・FAX(082)246-3928

仕出し料理・お弁当

つるや

広島県世羅郡世羅町甲山
TEL (0847) 22-0122